

こころの玉手箱

6月号



きみはほんとうにステキだね 作・絵 宮西 達也



詫間中学校では、毎月17日の朝の時間を利用して、全校道徳【イ〜なの日】を実施しています。今回は、宮西 達也さんの絵本「きみはほんとうにステキだね」を紹介します。小さい頃に読んだことがある人もいるかもしれませんが、中学生で聴く絵本もまた違う視点で新鮮でしたね。あらすじは、乱暴者のティラノサウルスと心優しいエラスモサウルスの友情の物語でした。「なぜティラノサウルスは本当のことをエラスモサウルスに伝えたのでしょうか？」放送での質問に答えている感想も多数ありました。ところで皆さんは、本当の自分を打ち明けられる友人はいますか？

☆ 1年生 ☆

- ☆ 「なんてひどいことをする奴がいるんだ！」と言ったけど、いつも自分はそのひどいことをする側で、大事な仲間が傷つく悲しみ、苦しみが分かったから、エラスモサウルスにうそをつきたくなくなった。
- ☆ だって、嘘をついたままその後会えなくなるのは一番悲しくないですか？一方に嘘をつき続け、一方はそれを信じ続ける。よい思い出でも、なんか悲しくないですか？
- ☆ うそをついていたら、本当の友だちにはなれないと思った。でも、本当のことを話すと嫌われるかもしれないと思いながら、勇気を出して言ったんだと思いました。
- ☆ 自分はこんなに乱暴なのに、いつも優しく受け入れてくれて、そんな相手にうそをついていると心が痛むから。自分も相手が優しくかったりして、もしうそをついているとすっきりしないし、心が痛んでしまうから。
- ☆ 本当の自分を知って、そして友だちになってほしいから、いじわるでするくて自分勝手なことを言った。

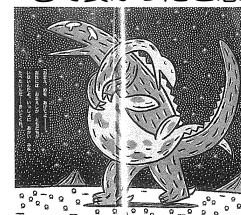
☆ 2年生 ☆

- ☆ エラスモサウルスが死んでしまったら、嘘の自分と友達になってしまうから、本当の自分と友達になってほしかったんだと思いました。
- ☆ 優しいエラスモサウルスに嘘をついているのはおかしいと感じ、エラスモサウルスなら本当のことを言っても友達でいてくれると思ったから、正直に言ったのだと思います。私もエラスモサウルスみたいに本音で話してもらえる人になりたいです。
- ☆ 本当の友達だったから、本当の自分のことを伝えたかったのだと思いました。最初はばれるのがこわいと思っていたけど、それを越えるくらいよい友達になったんだと思いました。
- ☆ エラスモサウルスと最後に本当の友達になりたかったのだと思った。
- ☆ 乱暴者だったティラノサウルスが一頭のエラスモサウルスに出会っただけで、こんなに変わるのだなと思いました。自分も友達を大切にしたいです。



☆ 3年生 ☆

- ☆ エラスモサウルスは命の恩人かつただ1人の友達で、信頼があったから本当の自分を伝えることができたのだと思った。
- ☆ 本当のティラノサウルスは、友達にはとても優しいのだなと思った。今までは友達がいなかったから本当の自分が出せなかったのではないかと思った。
- ☆ 自分の中のきれいな一面とそうでない一面を互いに共有するのが本当の友達ではないかと思った。
- ☆ 海の友達の変わり果てた姿を見て、自分が陸の恐竜にしてきたことがどれだけ相手を苦しめてきたのが身に染みて感じる事ができた。
- ☆ 弱いものいじめをする自分を変えたかったから本当の自分を打ち明けたのだと思った。私も弱い立場の人の気持ちを考えて、人の役に立てる人間になりたいと思った。
- ☆ 本当の友達だから本当の自分を見てもらいたかったのだと思う。命がけて友達を助けようとするティラノサウルスに本当の友達ができて良かったと思った。



出典 ポプラ社

保護者の皆さんへ

お子様と意見の交換をして、感想などをお気軽にお寄せください。裏面に先月の保護者返信があります。

-----切り取り線-----

保護者返信欄 (お子さんを通じて担任までお渡し下さい。)

先月の保護者返信

- ライバルの成功も失敗も自分のことのように感じ、それを喜びや悔しきで表現する。勝負の世界で、なかなかできることではないと思います。全ての人に対して公平な気持ちを持っている。素晴らしいと思います。
- まずブレない自分を持つという事が大切だと思います。スポーツのみならず、人生の歩み方に通じる事だと話し合いました。
- スケートボードが心底好きで、楽しんで仲間たちと一緒に競技できることを心か喜んでいるんでしょうね。息子たちも学校や部活動を通して、失敗や挫折にあったとしても、「次がある、次。」と励まし合って、応援しあえる、大切な仲間をつくってほしいです。